



平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月12日

上場会社名 松竹 株式会社 上場取引所 東・大・札・福
 コード番号 9601 URL http://www.shochiku.co.jp
 代表者（役職名） 代表取締役社長 （氏名） 迫本 淳一 TEL 03-5550-1699
 問合せ先責任者（役職名） 取締役 （氏名） 井手 良樹 配当支払開始予定日 ー
 四半期報告書提出予定日 平成24年10月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年2月期第2四半期の連結業績（平成24年3月1日～平成24年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	38,991	5.9	1,963	290.9	1,229	—	1,009	—
24年2月期第2四半期	36,827	△14.6	502	△72.5	△249	—	△2,498	—

（注）包括利益 25年2月期第2四半期 360百万円（－％） 24年2月期第2四半期 △2,334百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	7.35	—
24年2月期第2四半期	△18.18	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期第2四半期	173,662	64,218	36.9	467.05
24年2月期	171,934	64,286	37.3	467.39

（参考）自己資本 25年2月期第2四半期 64,163百万円 24年2月期 64,215百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年2月期	—	0.00	—	—	—
25年2月期（予想）	—	—	—	3.00	3.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想（平成24年3月1日～平成25年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,050	9.8	2,270	159.6	530	—	140	—	1.02

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー 社（社名） 、除外 ー 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年2月期2Q	139,378,578株	24年2月期	139,378,578株
② 期末自己株式数	25年2月期2Q	1,998,381株	24年2月期	1,987,562株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年2月期2Q	137,385,921株	24年2月期2Q	137,410,486株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、震災復興関連需要、企業の設備投資、個人消費等、堅調な国内需要を背景に、緩やかな持ち直しの傾向がみられる一方、歴史的な円高水準の継続、欧州の財政問題や新興国経済停滞等、依然不透明な状況のまま推移しました。

このような状況下、当企業グループはより一層の経営の効率化を図り、積極的な営業活動を展開しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高38,991百万円(前年同期比5.9%増)、営業利益1,963百万円(同290.9%増)、経常利益1,229百万円(前年同期は経常損失249百万円)となり、特別利益53百万円、特別損失107百万円を計上し、四半期純利益は、1,009百万円(前年同期は四半期純損失2,498百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(映像関連事業)

映像関連事業におきましては、配給は、邦画3本、洋画1本、アニメ3本、シネマ歌舞伎1本、METライブビューイング4本と、バラエティに富んだ作品を公開しました。春休みには「おかえり、はやぶさ」が厳しい結果となった一方、「ウルトラマンサーガ」は堅調に推移しました。ゴールデンウィーク公開作品「わが母の記」は評価も高く、上半期の収益に貢献しました。

この他に、ODS(非映画デジタルコンテンツ)として、「機動戦士ガンダムUC episode5」「宇宙戦艦ヤマト2199 第一章・第二章」を当社の連結子会社・株松竹マルチプレックスシアターズ劇場限定で公開し、好成績を収めました。

興行は、株松竹マルチプレックスシアターズ運営の各劇場では、邦画では大ヒットコミックが原作の「テルマエ・ロマエ」、洋画では新シリーズの第1弾「アメイジング・スパイダーマン」等が好成績を収めました。

テレビ制作、映像ソフト、テレビ放映権販売、海外向け作品販売等は堅調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は22,896百万円(前年同期比1.2%減)、セグメント利益は1,321百万円(同17.5%増)となりました。

(演劇事業)

演劇事業におきましては、新橋演舞場は、6・7月の2ヶ月にわたる二代目市川猿翁・四代目市川猿之助・九代目市川中車襲名披露興行が大きな話題となり、高い収益をあげました。「八月花形歌舞伎」では「伊達の十役」が好評を博し、好成績を収めました。大阪松竹座は、3年目となる「團菊祭五月大歌舞伎」、三代目中村又五郎・四代目中村歌昇襲名披露を行った「七月大歌舞伎」、創立90周年を迎えるOSK日本歌劇団「レビュー春のおどり」を上演したほか、毎年夏・冬の関西ジャニーズjr.公演を春にも上演し、賑わいを呈しました。南座は、坂東玉三郎主演の5月「ふるあめりかに袖はぬらさじ」、6月「坂東玉三郎特別公演」と、並行して2カ月連続で開催した展覧会「歌舞伎ミュージアム『玉三郎“美”の世界展』」の組み合わせが話題を呼び、好成績を収めました。

その他の松竹主催公演は、「平成中村座」は5月末、盛況のうちに昨秋からのロングラン公演を終え、日生劇場で3年目となる「滝沢歌舞伎」も安定した収益をあげました。シアターコクーンでは、コクーン歌舞伎の新作「天日坊」の上演で話題を集め、また震災の影響で2年ぶりの実施となった7月の公文協東コース・中央コースが、各地で好評を博しました。シネマ歌舞伎、METライブビューイング、その他演劇関連事業は、堅調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,326百万円(前年同期比34.5%増)、セグメント利益は212百万円(前年同期はセグメント損失1,323百万円)となりました。

(不動産事業)

不動産賃貸は、新宿松竹会館、築地松竹ビル(ADK松竹スクエア)、大船の松竹ショッピングセンター、新木場倉庫等、更に昨年秋ルミネがオープンした有楽町センタービル(マリオン)の稼働が順調に推移し、安定収入に貢献しました。一部ビルでは、賃料減額要求や移転告知に関する交渉が続いておりますが、各ビルとも効率的運営、経費削減に努めることにより、利益を確保しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,328百万円(前年同期比1.3%増)、セグメント利益は1,664百万円(同8.7%減)となりました。

(その他)

プログラム・キャラクター商品は、「シャーロック・ホームズ シャドウゲーム」「ダーク・シャドウ」等、邦画・洋画の大作・話題作での売上が好調に推移しました。また一連のアニメ作品については、キャラクター商品の売上も好調で、「宇宙戦艦ヤマト2199 第一章・第二章」「機動戦士ガンダムUC episode5」等が収益に大きく貢献しました。

また、「わが心の歌舞伎座展」(東京)、「モンスター研究所」(大阪)等、盛夏を中心に展開したイベントにて成果を上げました。また「松竹歌舞伎屋本舗」との連動で行った物販イベント「歌舞伎屋本舗職人展2」や様々な洋画グッズを取り揃えた「銀幕本舗」を開催しました。貸衣裳事業、清掃事業は堅調な成績をあげております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,439百万円(前年同期比9.5%減)、セグメント利益は70百万円(同72.1%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,728百万円増加し、173,662百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金や設備が減少したものの、建設仮勘定(責任財産限定対象)が増加した事等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,796百万円増加し、109,443百万円となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金(責任財産限定)の増加等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ68百万円減少し、64,218百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金の減少等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績、今後の見通し及び株式市場の動向を検討した結果、現時点においては平成24年4月13日付「平成24年2月期 決算短信」にて公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,844,645	13,721,198
現金及び預金(責任財産限定対象)	2,736,972	2,989,172
信託預金(責任財産限定対象)	3,375,387	3,443,562
受取手形及び売掛金	5,755,141	5,197,673
有価証券	—	300,000
商品及び製品	1,420,720	1,418,182
仕掛品	1,556,412	1,157,471
原材料及び貯蔵品	89,536	84,042
その他	3,729,383	3,324,149
貸倒引当金	△20,387	△12,082
流動資産合計	30,487,813	31,623,370
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,676,868	21,185,529
信託建物(責任財産限定対象)(純額)	13,504,996	13,163,820
設備(純額)	13,708,048	12,913,929
土地	23,610,621	23,610,620
信託土地(責任財産限定対象)	18,751,834	18,751,834
建設仮勘定(責任財産限定対象)	8,348,379	11,103,714
その他(純額)	3,767,918	3,898,548
有形固定資産合計	103,368,666	104,627,997
無形固定資産		
のれん	7,380	5,952
その他	1,694,432	1,848,641
無形固定資産合計	1,701,813	1,854,593
投資その他の資産		
投資有価証券	11,960,724	11,415,793
長期前払費用(責任財産限定対象)	14,664,066	14,517,661
その他	9,856,113	9,733,263
貸倒引当金	△127,276	△122,692
投資その他の資産合計	36,353,627	35,544,025
固定資産合計	141,424,107	142,026,616
繰延資産	22,309	12,477
資産合計	171,934,230	173,662,464

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,508,047	6,288,463
短期借入金	4,098,000	5,248,000
1年内返済予定の長期借入金	12,161,333	11,477,133
1年内返済予定の長期借入金(責任財産限定)	775,000	28,285,000
未払法人税等	345,862	218,909
賞与引当金	434,091	336,975
その他	5,355,107	5,958,537
流動負債合計	29,677,443	57,813,019
固定負債		
社債	1,100,000	1,100,000
社債(責任財産限定)	10,000,000	10,000,000
長期借入金	20,547,232	19,261,988
長期借入金(責任財産限定)	34,895,000	10,000,000
退職給付引当金	1,523,600	1,522,032
役員退職慰労引当金	687,027	629,556
資産除去債務	1,286,781	1,299,604
その他	7,930,354	7,817,736
固定負債合計	77,969,997	51,630,918
負債合計	107,647,440	109,443,937
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,018,656	33,018,656
資本剰余金	30,066,711	30,066,711
利益剰余金	1,749,120	2,338,200
自己株式	△1,270,555	△1,278,782
株主資本合計	63,563,932	64,144,785
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	651,213	18,419
その他の包括利益累計額合計	651,213	18,419
少数株主持分	71,644	55,321
純資産合計	64,286,790	64,218,526
負債純資産合計	171,934,230	173,662,464

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	36,827,768	38,991,437
売上原価	21,625,730	22,508,978
売上総利益	15,202,037	16,482,459
販売費及び一般管理費	14,699,707	14,518,817
営業利益	502,330	1,963,641
営業外収益		
受取利息	31,695	28,146
受取配当金	87,075	125,581
負ののれん償却額	13,804	2,282
持分法による投資利益	—	10,553
その他	162,877	72,862
営業外収益合計	295,453	239,426
営業外費用		
支払利息	706,856	655,300
借入手数料	74,992	72,664
持分法による投資損失	21,369	—
その他	243,594	245,984
営業外費用合計	1,046,811	973,949
経常利益又は経常損失(△)	△249,027	1,229,119
特別利益		
固定資産売却益	—	53,838
投資有価証券売却益	20,209	—
貸倒引当金戻入額	11,689	—
新株予約権戻入益	71,712	—
特別利益合計	103,610	53,838
特別損失		
固定資産売却損	11,794	—
固定資産除却損	7,371	8,597
投資有価証券売却損	—	6,550
投資有価証券評価損	1,771,526	92,159
環境対策費	47,217	—
災害による損失	722,594	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	494,513	—
特別損失合計	3,055,018	107,307
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,200,435	1,175,650
法人税、住民税及び事業税	118,888	114,553
法人税等調整額	△793,746	67,237
法人税等合計	△674,857	181,791
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,525,577	993,859
少数株主損失(△)	△27,322	△15,369
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,498,255	1,009,228

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△2,525,577	993,859
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	191,632	△628,132
持分法適用会社に対する持分相当額	△328	△4,761
その他の包括利益合計	191,304	△632,893
四半期包括利益	△2,334,273	360,965
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,306,775	376,434
少数株主に係る四半期包括利益	△27,497	△15,468

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,200,435	1,175,650
減価償却費	1,974,889	2,046,121
のれん償却額	195,598	△2,282
賞与引当金の増減額(△は減少)	△65,453	△97,116
退職給付引当金の増減額(△は減少)	20,946	△1,568
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△22,980	△57,471
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11,696	△12,888
受取利息及び受取配当金	△118,771	△153,727
支払利息	706,856	655,300
持分法による投資損益(△は益)	21,369	△10,553
新株予約権戻入益	△71,712	—
固定資産売却損益(△は益)	11,794	△53,838
固定資産除却損	7,371	8,597
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	494,513	—
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	1,751,317	98,709
売上債権の増減額(△は増加)	△457,457	557,468
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,008,043	406,973
仕入債務の増減額(△は減少)	△190,446	△219,584
その他	468,287	1,319,838
小計	505,949	5,659,628
利息及び配当金の受取額	120,166	160,708
利息の支払額	△705,259	△660,440
法人税等の支払額	△318,838	△314,625
法人税等の還付額	197,957	212,086
営業活動によるキャッシュ・フロー	△200,024	5,057,358
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△334,903	△183,757
定期預金の払戻による収入	431,453	285,303
現金及び預金(責任財産限定対象)の増減額(△は増加)	258,219	△252,200
信託預金(責任財産限定対象)の増減額(△は増加)	△55,658	△68,174
有価証券の取得による支出	△100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△926,731	△3,563,530
有形固定資産の売却による収入	75,400	140,085
無形固定資産の取得による支出	△31,067	△201,265
投資有価証券の取得による支出	△499,457	△360,051
投資有価証券の売却による収入	66,744	16,500
貸付けによる支出	△70,618	△176
貸付金の回収による収入	125,710	143,954
長期前払費用(責任財産限定対象)の取得による支出	△6,661,065	—
その他	42,805	△18,474
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,679,168	△4,061,787

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	203,200	1,150,000
長期借入れによる収入	179,591	1,580,697
長期借入金の返済による支出	△2,288,951	△3,550,141
長期借入れ(責任財産限定)による収入	7,000,000	3,000,000
長期借入金(責任財産限定)の返済による支出	△375,000	△385,000
リース債務の返済による支出	△85,137	△92,003
自己株式の取得による支出	△6,668	△8,192
配当金の支払額	△411,555	△413,582
少数株主への配当金の支払額	△854	△854
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,214,625	1,280,923
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,664,567	2,276,493
現金及び現金同等物の期首残高	15,989,916	11,519,572
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△39,176	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,286,171	13,796,066

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	映像関連事業 (千円)	演劇事業 (千円)	不動産事業 (千円)	その他 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)3
売上高							
外部顧客への売上高	23,169,188	7,678,504	3,285,031	2,695,044	36,827,768	—	36,827,768
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	52,560	44,030	1,025,428	1,864,593	2,986,612	△2,986,612	—
計	23,221,748	7,722,535	4,310,459	4,559,637	39,814,381	△2,986,612	36,827,768
セグメント利益又は 損失(△)	1,125,004	△1,323,806	1,823,316	253,411	1,877,925	△1,375,594	502,330

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、舞台衣裳の製作・販売・賃貸、プログラムの製作・販売、キャラクター商品の企画・販売、演劇舞台の大道具・小道具・音響の製作・販売、音楽著作権の利用開発・許諾、不動産の管理・清掃等であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,375,594千円には、セグメント間取引消去11,694千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,387,288千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る経費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	映像関連事業 (千円)	演劇事業 (千円)	不動産事業 (千円)	その他 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)3
売上高							
外部顧客への売上高	22,896,682	10,326,686	3,328,955	2,439,113	38,991,437	—	38,991,437
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	26,074	53,860	860,350	1,768,262	2,708,548	△2,708,548	—
計	22,922,757	10,380,546	4,189,306	4,207,375	41,699,985	△2,708,548	38,991,437
セグメント利益	1,321,911	212,576	1,664,641	70,578	3,269,708	△1,306,066	1,963,641

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、舞台衣裳の製作・販売・賃貸、プログラムの製作・販売、キャラクター商品の企画・販売、演劇舞台の大道具・小道具・音響の製作・販売、音楽著作権の利用開発・許諾、不動産の管理・清掃等であります。
2. セグメント利益の調整額△1,306,066千円には、セグメント間取引消去16,516千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,322,582千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る経費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。